

# AGIH Brief AKIMOTO HOSPITAL Letter

秋本病院ブリーフレター

08 JAN

vol.

38

秋本病院の今 ..... p.1 ~ 2

## 秋本病院がめざす緩和ケア

「全人的なサポートをめざして」

緩和ケアセンター長・医学博士 永山 淳

「言葉に表れない部分まで汲みとりたい」

企画室長・医療ソーシャルワーカー 内田 浩稔

緩和ケア病棟の食事はこんな感じです

地域とのつながり ..... p.3

舞鶴中学校 職場体験学習

西南学院大学 インターンシップ

秋本亮一院長は

「ライジング福岡」のチームドクターです

トピックス ..... p.4

70名を超える患者様とご家族に参加いただきました  
クリスマスコンサート

千一夜医話 ..... p.5

医療制度改革と医療崩壊

検査の話 ..... p.6

尿試験紙検査

スタッフの横顔 ..... p.6

看護師 宮崎こずえ

薬剤師 中村恭子

essay

## ボランティアが育むもの

巻頭エッセイ

新しい年を迎え、何かを始めたいと思っている方も多いでしょう。趣味に生きよう。旅行をしよう。そんな選択肢のひとつに、人の役にたちたいというのもあるのではないかと思います。

思い返せば、日本でボランティアという概念がクローズアップされたのは、1995年1月の阪神・淡路大震災がきっかけだったといえます。被災地の状況や増え続ける犠牲者の様子がテレビなどで大々的に伝えられ、同時に復興や被災者の支援にあたる「災害ボランティア」の活躍も注目を浴びました。このことが日本のボランティア普及に大きな影響をもたらし、1995年を「日本のボランティア元年」とする流れができたというのです。

ボランティアという言葉はもともと、「志願者、志願兵」を意味しています。誰かから言われるわけでもなく、自分から志願することで活動を行おうというものです。この、自ら志願し、社会や地域に貢献していこうとする能動的な精神を「ボランタリズム」と呼び、ボランティアの基礎をなす根源とされています。こういうと何やら難しそうですが、実際にボランティアに関わっている人が異口同音に語るのは、活動から生まれる社会関係やネットワークなど、ボランティアにはさまざまな可能性があるということです。たとえ小さなことであっても、自分にできることを提供することでさらに自分の人生を豊かにすることができれば、これこそ人生の喜びかもしれません。



# 秋本病院がめざす「緩和ケア」

患者様とご家族の身体と心の痛みを癒し、サポートします

# 秋本病院がめざす「緩和ケア」

2007年7月に、秋本病院「緩和ケア病棟」を開設してから6カ月が過ぎました。いわゆる「ホスピス」と呼ばれる施設ですが、一般的には耳慣れない言葉かもしれません。また、聞いたことはあるけれど、実際にどんな治療を行うのかわからない、という方も多いと思います。そこで今回は、緩和ケアについてご紹介すると同時に、当院がめざす「緩和ケア」をお伝えしたいと思えます。

## 緩和ケアとは

緩和ケア病棟では、治癒をめざした積極的な治療の効果が期待できなくなった患者様に対して、からだの痛みやこころの苦しみを和らげ、有意義な生活が送れるように援助します。病気を治すことを目的とした治療は行いませんが、体の痛みを取り除き、食欲不振や全身の倦怠感、呼吸困難、不眠、不安などさまざまな症状を和らげるケアを行います。患者様が常に自分らしく、豊かな人生の間を送れるように、そしてご家族も含めてよい時間を過ごせるように支援していく治療なのです。

## 秋本病院の「緩和ケア」

当院の緩和ケア病棟に入院されている患者様は、医療機関からの紹介はもちろん、当院ホームページを見てお問い合わせをされた方、「家族や友人に勧められて」という口コミによるご利用まで、いろいろな方がおられます。利用の理由としては、「自宅に近い」「ご家族の勤務先が近い」がもっとも多く、福岡市営地下鉄、西日本鉄道、西鉄バスが利用でき、天神からも徒歩圏という、都市型施設ならではのアクセスのよさが評価されています。また、「緩和ケア病棟は和風のしっとりした雰囲気が多いので、秋本病院のホテルライクな雰囲気や

インテリアが好き」とおっしゃる方もいらっしやいます。

オープンから6カ月が経ち、スタッフ

間の連携もスムーズになりましたの

で、今後はボランティアによる「ティールームサービス」なども実施していく予定です。



### 病室

ホテルのようなシンプルなインテリアが特徴。都市型施設にふさわしい、モダンな雰囲気を大切にしています

## 「全人的なサポートをめざして」

緩和ケアセンター長・医学博士

永山 淳

ながやま じゅん



抗がん剤をはじめとした治療の進歩にもかかわらず、がんのできる方は依然として多く、我が国では年間30万人を超えるといわれています。末期がんの8割ほどに耐えがたい痛みが生じるといわれ、痛みのために心の平安が失われ、人間らしい生活が送れなくなるこ

とが多く見られます。しかし、痛みに対する薬を正しく使えば、がんの痛みのほとんどを抑えることができます。また、痛みのほかに体のむくみや吐き気、夜よく眠れないなどの症状を抱えて苦しんでおられる患者さんがたくさんいらっしゃいますが、こうした症状も、薬やケアの工夫でかなり和らげることができるのです。

「緩和ケア」とは、こうしたが

んに伴って生じる苦痛な症状を和らげ、その方がその方らしく過ごしていただけるように努める治療のことです。がんの方の味わう苦痛は身体的なことだけではなく、制限もありません。ご家族との時間が失われるつらさ、お仕事や自分の役割が果たせなくなった無念の思いなどを抱えておられることもあるでしょう。治療費などの経済的な負担も苦しみの一つかもしれません。緩和ケアでは、これまでの医療がほとんど目を向けてこなかった、こうした部分にも重点を置き、医師や看護師だけでなく、ソーシャルワーカー、薬剤師、栄養士などのサポートを通じて、患者さんを全人的に支えていくことを目指しています。

## 「言葉に表れない部分まで汲みとりたい」

企画室長・医療ソーシャルワーカー

内田 浩稔

うちだ ひろとし



当院の緩和ケア病棟への入院は、患者さんやご家族との面談から始まります。入院相談には、医療的な側面や社会的な側面、そして精神的な側面などさまざまな対応が必要になるため、当院では担当医師とソーシャルワーカーが同席して行っています。ソーシャルワーカーとしては、「相手の話をしっかりと聴くこと」「傾聴」が大切です。患者さんやご家族は、時には表現できないほどの悲しみや苦しみ、そして心の痛みなどを抱えておられます。効果的な質問により、ある程度限られた時間内に相手と訴えようとしている「核心部分をつかめるよう努力しますし、共感的

態度で安心感や信頼感を高めることも大切です。内容的にもかなり重たいものになるため、面接には1時間から2時間という時間を要します。十分な対応をさせていただくため、現状では1日1件の対応とさせていただきます。どうかご理解をよろしくお願い致します。



受付と相談室（2F）  
プライバシーを守り、じっくりお話するため、独立した相談室を設けています

## 緩和ケア病棟の食事はこんな感じです！



ある日の献立は、トンカツ、きんぴら、すまし汁、フルーツ、ヤクルト。少しでも食欲がわくように食器は陶磁のものを使い、盛り付けや見栄えにも気を遣っています

### 「患者さまの要望に応えるお食事を」

食事は入院生活の大きな楽しみですから、患者様のご希望に極力添えるよう努力しています。酸味が苦手な方でしたら酢の物をサラダに変更したり、やわらかなものを食べたいと言われればご飯をお粥にしたりと、素材を変えずに調理方法を変える工夫は日常のことです。その他、メニューの変更やお好きなデザートを追加したりすることも多いです。最近では、リクエストの多かったカレーを急ぎで献立に加えたところ、とても喜ばれました。また、栄養士と調理師は、患者様と同じ献立をいただいて、その日の味を把握しています。食べ残しをチェックして、週に1度はご意見を伺い、好きなものや食べられるものをできるだけおいしく食べていただけるよう努めています。（栄養課スタッフ一同）

# 地域とのつながり



秋本病院では、恒例となった「中学生の職場体験実習」や、大学生のインターンシップ受け入れなどを通じて、地域との連携を深めてきました。また、当院院長の秋本亮一は、福岡のプロバスケットボールチーム「ライジング福岡」のチームドクターも務めています。地元を愛し、そして地元で愛される病院でありたいというのが、秋本病院の願いです。

## 舞鶴中学校 職場体験学習

2007年9月11日(火)~13日(木)

まだまだ暑さの残る9月、舞鶴中学の2年生ふたりが、病院診療の体験学習に来られました。これまでは女子が多かったのですが、今年は珍しく2人とも男子となりました。処置や看護を経験したり、目隠しをして目の不自由な状況を体験する「アイ体験」などにチャレンジしてもらったり、3日間という限られた時間のなかで、できるだけ多くの体験をしてもらいました。実習後には「医療の現場に触れて、学校とは違ったよい勉強ができた」という感想をいただきました。

### 担当看護師からのメッセージ

看護師 入舟 亜矢 いりふね あや

担当看護師として3日間、元気な男子中学生のお世話をしましたが、印象的だったのは、2人が患者様の洗髪や足浴に挑戦したときのこと。おそろおそろ、まるで割れ物を扱うように、患者様の髪や足をそっと指先で洗っている姿はとてもかわいらしく、見ていて新鮮でした。「将来どんな仕事に就いても、今の優しい気持ちを忘れないでね」と母のような気持ちになった3日間でした。

## 西南学院大学 インターンシップ

2007年9月3日(月)~19日(水)

7月にオープンしたばかりの緩和ケア病棟(ホスピス)での実習が中心となりました。インターン終了後に届いた感想をご紹介します。

### “寄り添う心”の大切さを学びました

中園 智絵 なかその ともえ(西南学院大学 人間科学部社会福祉学科・4年)

医療の現場でMSW(医療ソーシャルワーカー)が果たす役割を自分の目で見てみたいと思い、実習に臨みました。緩和ケア病棟での業務を中心に、面接にも同席しました。ホスピスに入院されるということは、これ以上積極的な治療ができないということであり、患者様もご家族も何かしらの葛藤や不安を抱えておられます。医療の面は医師や看護師が担っても、心の部分は対応が難しいこともあります。そのような場合に、患者様やご家族の不安を取り除き、寄り添っていくのがMSWだと思います。今回の実習で、改めてMSWの必要性を感じました。これから、もっと多くの人にMSWの役割を知ってもらえるよう努めたいと思います。



あきもと りょういち  
秋本 亮一院長は、  
「ライジング福岡」の  
チームドクターです



## バスケットボールが大好きなあなたへ

ライジング福岡チームドクター 秋本 亮一 あきもと りょういち

福岡はバスケットボール王国。ミニバスケットボール、中学生、高校生といずれも全国トップレベルで、数々の名選手を送り出してきました。その福岡に2007年、プロのバスケットボールチーム「Rizing 福岡」が誕生しました。

ニューマンヘッドコーチの厳しい指導もあり、10月30日の開幕以来、日ごとに良いチームに育っています。12月現在で7勝7敗、首位の高松ファイブアローズに逆転勝利するなど、好試合が目立ちます。川面キャプテン(#11)のファーストブレイクやペネトレーション(カットインプレー)、ジョシュ(#30)の3Pシュート、JP(#45)のリバウンド、ドンゴ(#55)のシュートブロックなどなど、素晴らしいプレーがいっぱいです。しかしなんといっても、ライジングの魅力はディフェンスです。「This is basketball!」ともいえる、一生懸命で激しいディフェンスはまさに感動的です。

彼らのホームコートはアクション福岡、九電記念体育館、福岡市民体育館、北九州市立総合体育館です。ぜひ足を運んでバスケットボールの素晴らしさを堪能してください。そして、ライジング福岡を応援してください!!



©Rizing Fukuoka/bj-league

©Rizing Fukuoka k.kambetsunawa/bj-league

試合日程やチケットなどの情報は公式サイトでご確認ください。

<http://rizing-fukuoka.com/>



オカリナとギターを演奏するShanaさん。今回はオカリナが二重奏になり、スケールアップした演奏を聴かせてくれました



秋本亮一院長より開会の挨拶。「たくさんのご参加をいただき、ありがとうございます。皆さまどうぞ楽しんでくださいね」



バイオリン演奏の美しい音色にうっとり



サンタクロースに背負われて登場したトナカイさん!?



記念写真を撮りましょうね!



思わず、歌っちゃう!



クリスマスソングはどれも美しい。じっと聴き入ってしまいます



「楽しまれてますか? 疲れてないですか?」

# 70名を超える患者様とご家族に参加いただきました! 美しいメロディーに、心も晴れて 秋本病院 クリスマスコンサート

2007.12.15(土) 14:30 ~ 15:30  
秋本病院 2階フロア

「患者様とご家族とスタッフで、クリスマスソングを聴く会をしたいね」。そんな思いつきから始まった今回の企画。プログラムを相談したり、衣装を用意したりと、仕事の合間の準備は思うようには進みませんでしたが、皆さまの協力もあり、無事に当日を迎えることができました。不手際もあったと思いますが、今後もさまざまな企画を実施していく予定です。次回もたくさんのご参加をお待ちしております。(秋本病院 企画委員会)



出番を待つサンタクロースとトナカイさん。手伝っているのは誰?



袋いっぱいプレゼント!  
中身は、手づくりクッキーでした



サンタさん、ありがとう!



何もらったの、よかったね



閉会の挨拶は、緩和ケアセンター長の永山淳から。「また、このような会を持ちたいと思います」

## コンサートの後で こんな観想が届きました。

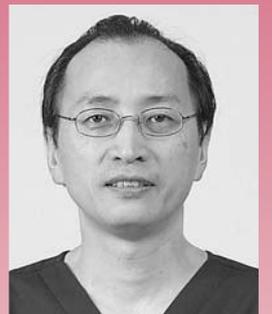
「音楽を聴いて胸がジーンとした。お腹もやっぱりジンジンします。これはどうしたことだろうか。たまらない。胸がつまる。感動、感動」  
「手づくりのクッキーをもらった。あったかい病院」



当日、誕生日を迎えられたハッピーな患者様にバースデープレゼントが贈られました。おめでとうございます!



# 千一夜医話



院長・医学博士  
秋本 亮一  
あきもと りょういち

## 医療制度改革と医療崩壊

2007年12月15日の午後、私たち医師会員は白衣を着て福岡・天神を進行しました。「国民の医療を守る国民運動」の一環で、福岡県医師会・福岡市医師会の呼びかけで「国民医療を守る緊急アピール行進」に参加したのです。



「高齢者医療費の負担増」「介護難民・介護危機」「産科・小児医療の危機」「医師不足」「看護師不足」「救急患者のたらい廻し」……このような見出しの医療関連記事が毎日のように新聞に掲載されます。小泉内閣発足以来、医療ではさまざまな改革が強引になされてきました。その旗印は財政再建、財務省の圧力のもと厚生労働省主導で、高齢化社会を迎え増大する医療費を如何に抑制するかという制度改革が断行されてきました。そのひずみがどんどん表に出てきているのが現状です。

実際のところ皆さんも、毎月の給料から

引かれている保険料が増額になり、また長期療養をしなければならぬ方が病院を転々としなければならぬ状況を身近に体験されているのではないかと思います。介護保険制度は、早くも見直しが必要な状況にきています。そして、医療費抑制政策の影響をまともに受けている医療現場は、まさに崩壊寸前です。

崩壊は具体的に次のようなところから始まっています。産科・小児科医の不足による産科・小児科医療機関の減少、中小医療機関の倒産の増加、勤務医の疲弊、救急患者の受け入れ難、地域の基幹病院の統廃合……日本外科学会も今年の総会で、若手外科医の減少により、このままでは将来、外科医がいなくなる」と警鐘を鳴らしました。医療の安全は、患者様のみならず私たち医療従事者にとっても切なる願いです。しかし、今の医療制度は人的・経済的条件を担保せずに完璧な安全を要求し、まさに竹槍と大和魂で敵を撃破しろといっているの

と同じです。加えて、事故が起これば警察に逮捕されるとなれば、リスクが高い科の医師が減るのは当然です。



日本の「国民皆保険制度」は世界に誇れるすばらしい制度です。私たちはこれまでその制度を享受してきました。しかし、政府がいつように財政がひっ迫しているのは事実ですから、その中で国民の健康を守り、安心して生活できる制度を作らねばなりません。現在の医療制度は各医療機関の裁量の余地がほとんど無く、ほとんど政府に統制されています。経済優先の現政権の方針では、国民医療はどつなるのでしょうか。衆議院選挙はそんなに遠い話ではないと思われます。国民の医療を真剣に考えてくれる政治家は誰なのか、日本の医療を守り、安心して暮らせる社会を取り戻すためによくよく考えたいものです。



医療崩壊の現状は、小松秀樹氏の「医療崩壊 立ち去り型サボタージュとは何か -」（朝日新聞社刊）に詳しく述べてあります。興味のある方は一読を。



# 検査の話



検査室長・臨床検査技師

野口 寛子  
のぐち ひろこ

## 「尿試験紙検査」

「尿試験紙検査」は、尿検査の代名詞ともいえる検査です。当院では、尿定性試験紙と分析器を使って尿検査を行っています。採取した尿に尿試験紙を浸し、分析器で測定して判定します。尿を採取する時は、始めの尿は捨て、排尿途中の中間尿を採取してください。ただし、検査の目的によって採取方法が異なることもありますので、医師の指導に従って採取してください。



尿試験紙は米国で開発された検査紙で、一般に細長いプラスチック状のスティックに試薬を含ませ、乾燥させた濾紙を貼りつけたものです。現在では1枚の尿検査紙で1～10項目まで測定できます。

**尿pH**……正常尿は弱酸性(平均pH6.0)ですが、食物の種類や薬剤などで容易に変動するため、1回の検査で異常とは判断できません。

**ウロビリノーゲン**……少量のウロビリノーゲンが尿中に出ている状態が正常です。肝機能障害や、赤血球が壊れて溶血が起こると尿中のウロビリノーゲンが増加します。

**尿蛋白**……腎臓や尿管などに障害があると、血液中の蛋白が漏れて陽性になります。運動後や入浴後に一過性に蛋白が出ることもあります。

**尿潜血**……尿潜血反応が陽性の場合、腎臓や尿管の結石、膀胱炎の可能性がります。ただ、一過性に陽性を示すこともあり、1回の検査で判定することはできません。また、女性は生理中の尿潜血反応は陽性になります。

**尿糖**……尿糖検査は一般にブドウ糖を指し、糖尿病を診断する第一歩となります。血糖値が一定限度を超えると、腎臓から多量の糖が尿にでます。副腎皮質ホルモン作用や妊娠により陽性になることもあります。

**ケトン体**……ケトン体は、脂肪が燃焼した時に生成される成分です。ケトン体が上昇する主な病気は、糖尿病と飢餓です。

検査結果でわからないことがあれば、お気軽にご相談ください。

## スリムな体に 優しさあふれる お薬のプロ。



薬剤師  
中村 恭子  
なかむら きょうこ

どんなに多忙でも、ゆとりがある時でも、薬局に行くと必ず優しくあたたかい笑顔で迎えてくれる中村さん。こちらが無理難題を投げかけても的確なアドバイスをくれる、とても頼りになる存在です。お薬のことも、とてもわかりやすく説明してくれます。おまけに中村さんといえば、秋本病院の5本の指に入るほどスタイルが良いのです。ちなみに、スタイル維持には特に何もしていないとか。機会があれば、その姿に注目してくださいね(笑)

紹介者：まるこ

## あかるい笑顔で 人気のナース。 特技は手作り



看護師  
宮崎 こずえ  
みやざき こずえ

いちご、桃、梨にぶどうなど、たくさんのおいしいフルーツが採れる浮羽町から高速バスで通ってくる、元気印のパワフルナース! その明るい笑顔でお年寄りのファン多し。デイルームでお茶のデートに誘われることもあったとか、ないとか……?

手作り大好きで、休日にはクッキーやケーキから、小物にスカートまで作ってしまう器用さ。なんと、自分用の手術着まで手作り! 頼まれれば、スタッフの小物もバパッとつくるし、患者さんの散髪もしてくれる、そんな家庭的な宮崎さん。お嫁に行く日も近い!...かも!?

紹介者：熱い男・ホレイショが好き



## STAFF PROFILE

## スタッフの横顔

職員の素顔(?)を紹介するこのコーナー。今回は、やさしさあふれるお二人を紹介。さて、どんな話が聞けるかな?



# Information of AKIMOTO

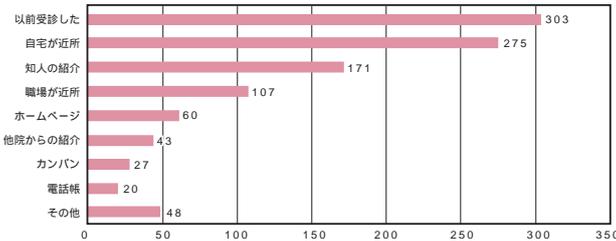
## Patient's voice

秋本病院では患者様に対するアンケート調査を定期的に行い、病院運営の指針としています。今回の調査では、1000名を超える患者様のご意見をいただくことができました。この場を借りて、ご協力いただいた患者様に改めてお礼を申し上げます。当院ではこの結果を真摯に受け止め、さらに地域や患者様に愛される病院をめざして努力して参ります。

### Q. 外来で当院を利用された理由、経緯は？

調査期間 2006.11.1～2007.1.29 調査対象 外来患者1054名

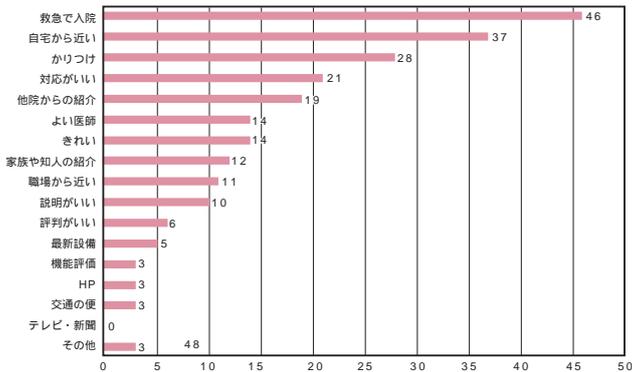
以前に受診歴がある患者様が最も多く、約3人に1人はリピーターの患者様という結果になりました。2番目に多かったのは、「自宅が近い」という理由で受診されている地元の患者様で、「知人の紹介」で受診されている「口コミ」の患者様も目立ちました。



### Q. 当院に入院された理由、経緯は？

調査期間 2007.1.9～2007.7.12 調査対象 入院患者116名

当院は救急指定病院のため、自ずと救急入院の患者様が多くなります。さらに、「自宅から近い」「かかりつけ」「対応がいい」という理由が続くことは、地域の病院として身近に感じていただいている証だと思われず。一方でHPによる利用は少なく、さらにPRに努める必要があるようです。

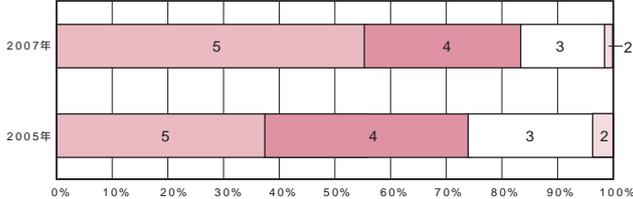


### Q. 当院の満足度を5段階で評価してください。

調査期間 2005年：2005.3.4～2007.3.14 調査対象 入院患者28名

調査期間 2007年：2007.1.9～2007.7.12 調査対象 入院患者116名

2005年の調査では、3割強だった「5」が5割を超え、8割を超える患者様が「4」「5」という高評価をいただくことができました。これを励みに、さらに高い評価をいただけるよう努めて参ります。



## New Face

2008年1月に組織変更を行い、受付スタッフが変わりました。これからも笑顔で頑張りますので、よろしくお願いいたします。



江口 理恵子 えぐちりえこ

11月19日から総務課でお世話になっている江口です。受付は、病院の顔となる業務なので、「毎日、明るく、元気に」をモットーに仕事に取り組みたいと思います。まだまだ失敗や間違いが多く、患者様や職員の方にご迷惑をおかけしていると思いますが、少しでも早く仕事に慣れ、スタッフの一員として戦力になれるよう頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。



島田 多恵子 しまたたくこ

一日も早く仕事に慣れ、患者様により良いサービスが提供できるよう頑張ります。私の趣味は旅行で、和菓子などを食べてゆっくりするのが好きです。特に秋の京都は最高ですね。特技は料理とスノーボードです。実家が山口県の日本海近郊ということもあって、魚料理は得意です。スノーボードは3年前に始めましたが、冬になるのが待ち遠しいほど夢中です。こんな私ですが、皆さまよろしくお願いいたします。

## Manners

### 風邪やインフルエンザの季節 “咳エチケット”を守りましょう!

咳やくしゃみが出る時、咳やくしゃみが出そうになった時は、まずティッシュで口と鼻をおおみましょう。ティッシュはゴミ箱に捨て、よく手を洗いましょう。手洗い場が近くにない時は、ウェットティッシュで代用できます。また、人ごみでは、できるだけマスクもつけましょう。なお、医師や看護師もマスクをつけさせていただく場合がございます。ご了承ください。



受付にて、マスクをサービスでお渡ししております。“咳エチケット”へのご協力をお願いいたします



### 編集後記

年も明けて今年が平成20年。ということは、今年が平成生まれの人が成人になるということ。そのうち我が職場にも平成生まれの人たちが増えてくると思うと、何だか急に歳をとったような気になるのは、きっと私だけではないはず。(内田)

秋本病院 プリーフレター Vol.38 2008年1月発行  
発行者 / 秋本亮一 発行所 / 医療法人AGIH 秋本病院  
〒810-0023 福岡市中央区警固1丁目8-3  
TEL.092-771-6361 FAX.092-771-9984



医療法人 AGIH

# 秋本病院

日本医療機能評価機構認定病院

消化器内視鏡センター・健診センター  
緩和ケアセンター

<http://www.akimoto-hospital.jp>